

2026年6月30日

各 位

会 社 名 株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー
 代表者名 代 表 取 締 役 白 岩 直 人
 (東証 プライム市場・コード:7172)
 問合せ先 経 営 企 画 部 長 高 山 太 志
 (TEL. 03-6550-9307)

登録有形文化財を有する「富士屋旅館」(神奈川県湯河原町)取得のお知らせ

当社は、下記の通り、神奈川県湯河原町に位置する「富士屋旅館」(以下「本物件」という)を、当社資産として取得したことをお知らせいたします。

本物件を構成する建物の一つである「富士屋旅館旧館」は、2020年に登録有形文化財に指定されており、日本の近代和風建築の系譜を知るうえでも貴重な建造物とされております。

記

1. 投資の目的

当社は、事業ポートフォリオにおいて不動産事業の基盤構築を重点戦略と位置付けており、これまでも、国内外から高い需要が見込まれる日本全国の宿泊施設を対象に投資を実行してまいりました。

本プロジェクトにおいては、単なる不動産取得にとどまらず、ファイナンススキームの構築と、これまで培ってきた不動産事業における知見やノウハウを最大限に活用いたします。これにより、本物件の歴史的・文化的価値を保全しながら、ハード及びソフト両面でのバリューアップを図ってまいります。

当社は本件を通じて、貴重な歴史的建造物を後世に残しながら持続可能な観光文化の創出にチャレンジするとともに、湯河原エリアの地域振興や新たな雇用創出に貢献していきたいと考えております。

2. 富士屋旅館の概要

(1) 名 称	富士屋旅館
(2) 所 在 地	神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 557
(3) 敷地面積	4,890.10 m ² (1,479.26 坪)
(4) 延床面積	2,171.13 m ² (656.77 坪)
(5) アクセス	JR「湯河原」駅からタクシー約7分・バス約15分 東名「用賀」インターから自動車約1時間45分
(6) 施 設	客室:全17室 ・温泉檜風呂客室:8室 ・檜風呂客室:2室 ・シャワー付客室:7室
(7) 公式 HP	https://fujiyaryokan.jp/

※本物件の運営は、引き続き、際コーポレーション株式会社が担います。

※取得先、取得額につきましては相手先との協議により非開示とさせていただきます。

3. 業績への影響

現時点において、本件による業績に与える影響は軽微です。

本件に関する問合せ先
広報・IR室
TEL:03-6550-9307

以上

【参考】 富士屋旅館 紹介

「富士屋旅館」公式サイトより

【富士屋旅館について】

古くは万葉集にも詠まれ湯河原温泉一帯は、良質の温泉が湧く湯所として知られています。名湯と海山に囲まれた美しい景観、豊かな食材は行楽・静養の地として人々に親しまれてきました。特に明治中期から国木田独歩、夏目漱石、与謝野晶子、谷崎潤一郎など多くの文人が訪れ、創作の場、交友の場として発展してきました。

富士屋旅館の歴史は古く、江戸後期にすでに前身となる温泉宿があったと伝えられており、実際、昭和43年まで幕末の建物が残っていたそうです。大正7年に出版された「湯河原案内」によると、富士屋旅館は明治9年に温泉旅館を始め、当時は雅称を「聚芳園」と言い、藤木川に架かる長橋を渡ると広い敷地に楼閣や別館が立ち並び、園内の花々が絶えることがなかったと紹介されています。

明治期、富士屋旅館、伊藤屋旅館、中西旅館、天野屋は豊かな自然と庭園の中に本館、別館など多くの建物が建ち、優れた風致を形成していたということです。

(建物外観写真)



【施設概要】

旧館

現存する建物の中でもっとも古いものは、大正12年に建てられた二階建ての楼閣風建築「旧館」です。旧館は藤木川に沿って建てられた檜の三寸六分角柱を用いた細身の建築で、客室の座敷飾り、縁側、廊下など外回りの建具に繊細な組子入り硝子戸を多用するなど、大正期の建築の特色をよく示しています。関東大震災でもほぼ被害を受けず、湯河原温泉が整備された大正期に建設された上質の建物であり、近代和風建築を知るうえで貴重な遺構とされています。外から見ると瓦葺入母屋造の角屋が双楼風に突き出しており、約100年の時を経てよみがえった富士屋旅館のシンボルとなっています。



洛味荘

旧館と渡り廊下でつながる建物が「洛味荘」(らくみそう)です。昭和26年から29年ごろに、京都から木材を運んで建設されたと伝わっています。改装前は八室あった客室を四室に間取りを変更し、ゆったりとした造りとしています。かつては格天井(ごうてんじょう)と呼ばれるお城や有名な寺などに使われるもっとも格式の高い様式の天井が用いられていました。特徴的な建具などからも当時、洛味荘が贅を尽くして造られたことをうかがわせる名残が感じられます。富士屋旅館の離れとして、静けさと落ち着きのある建物です。



新館

正面エントランスから入り、ロビーのある建物が「新館」です。昭和43年に建てられましたが、傷みが激しく骨組みだけを残してほぼ立て替えています。古き良き時代の日本のホテルをイメージし、和洋折衷の障子格子と洋風のソファを合わせるなど、どこかレトロ感があり、和のテイストを残した洋室が八部屋と、唯一当時のレイアウトを残した和室が二部屋あります。和の雰囲気とホテル的な機能性を兼ね備えた建物です。



(施設配置図)



以上